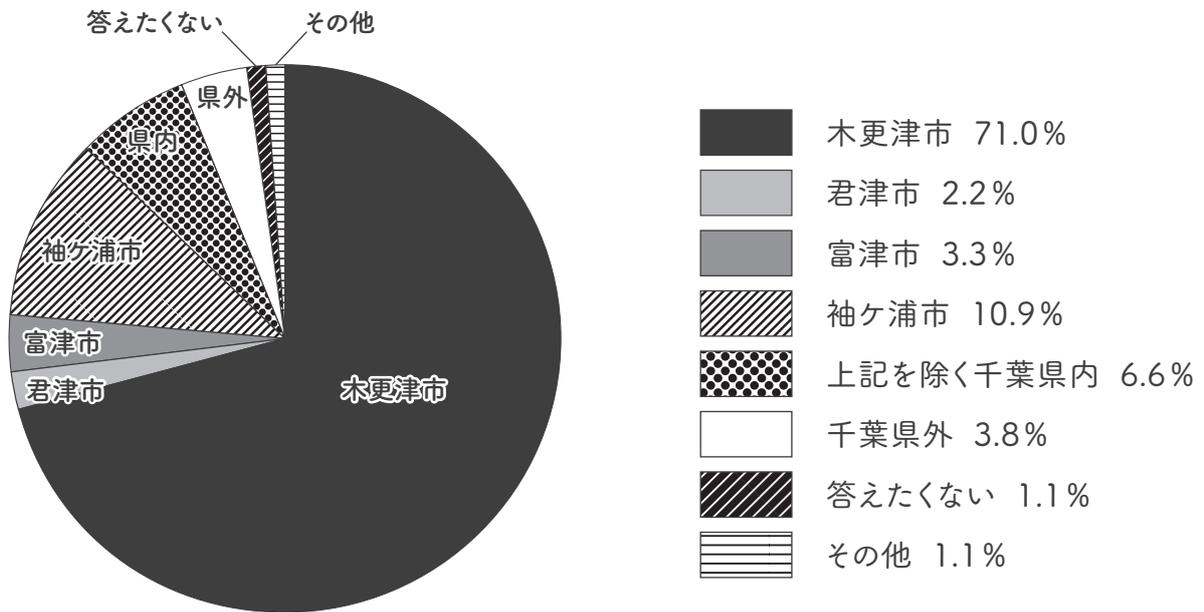
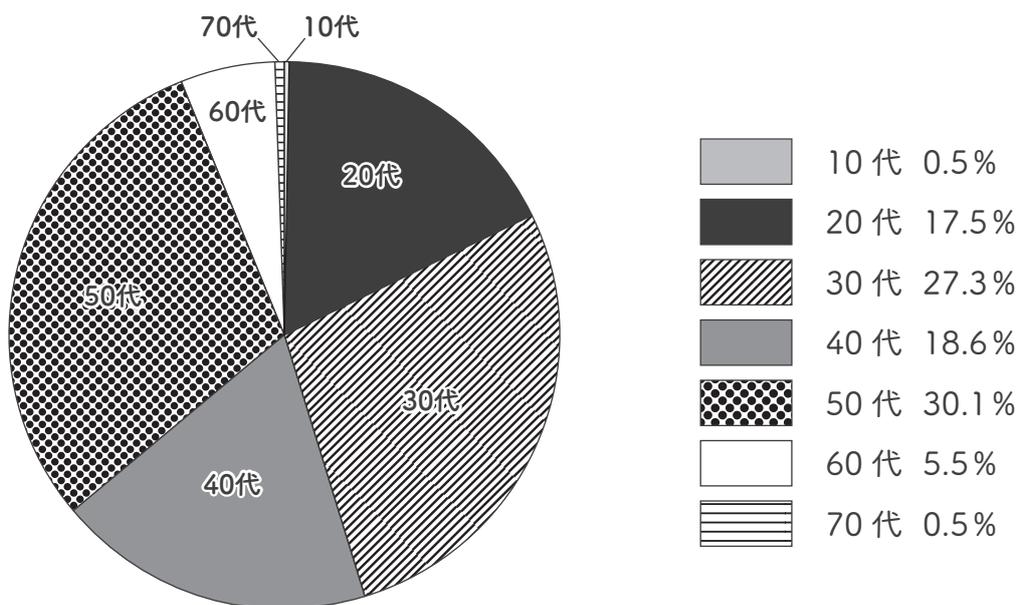


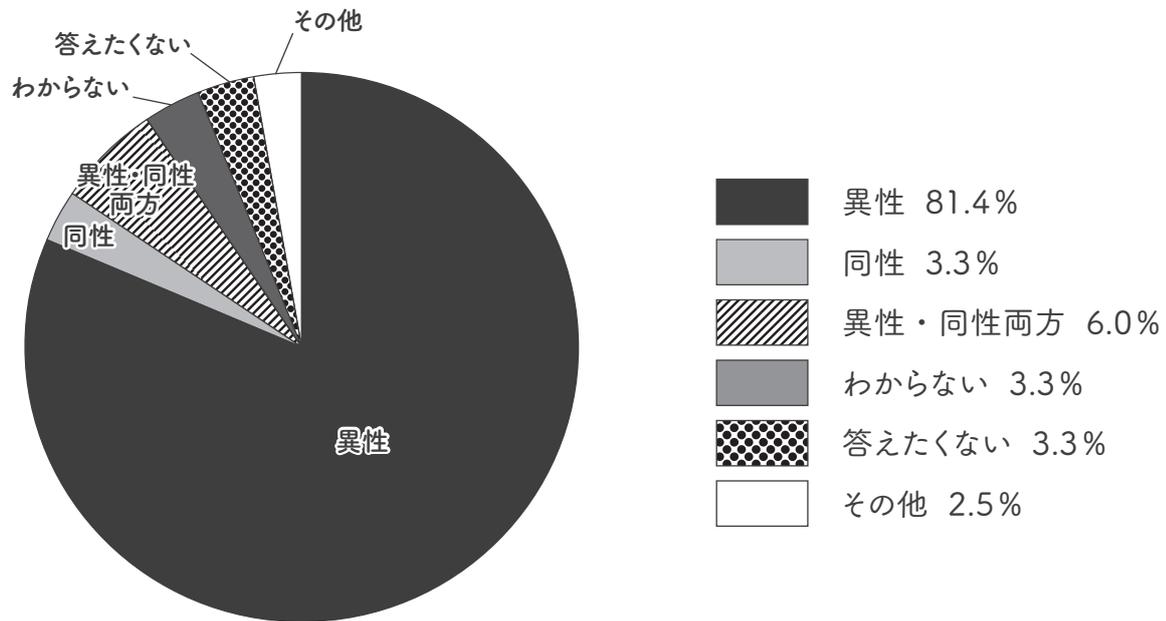
問1 あなたのお住まいを教えてください。(n=183)



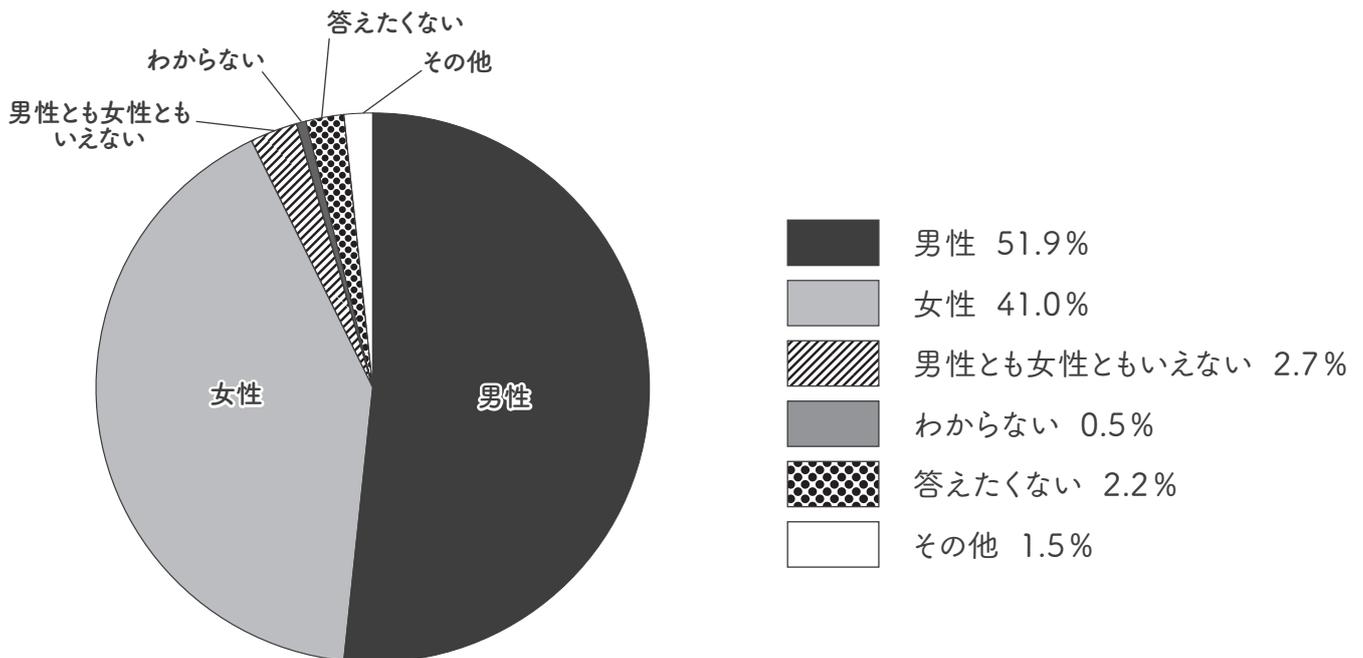
問2 あなたの年代を教えてください。(n=183)



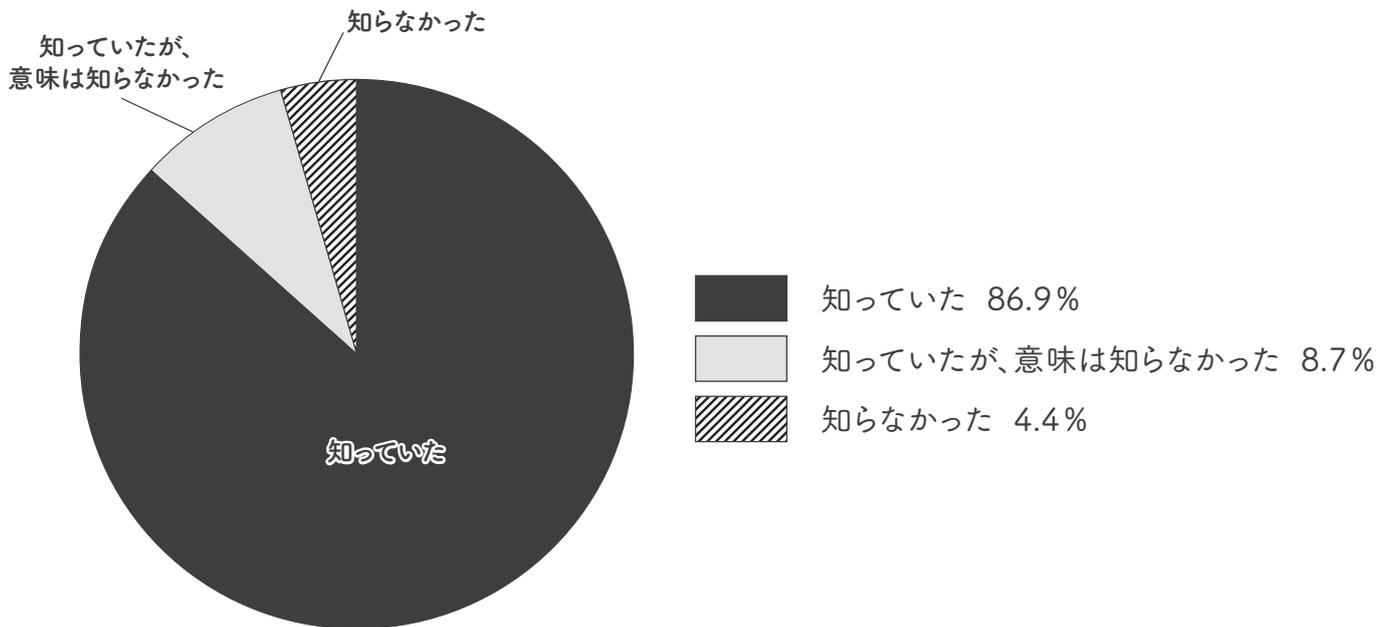
問3 あなたの性的指向（好きになる相手）を教えてください。（n=183）



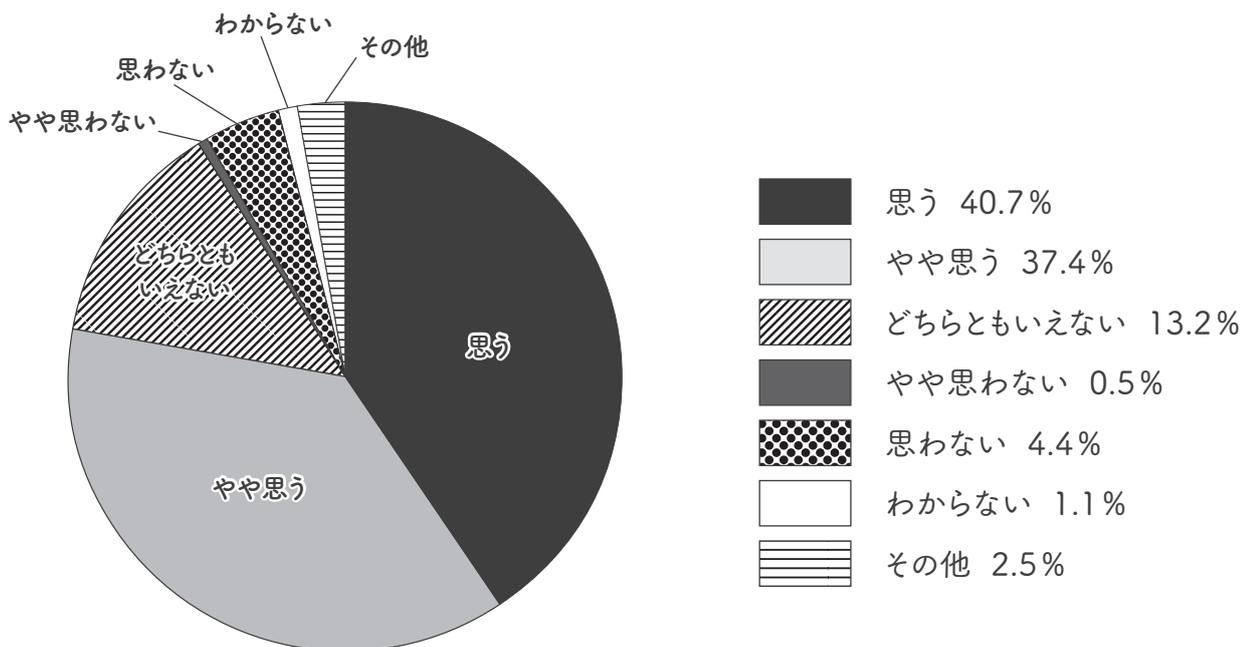
問4 あなたの自認（自覚）している性別を教えてください。（n=183）



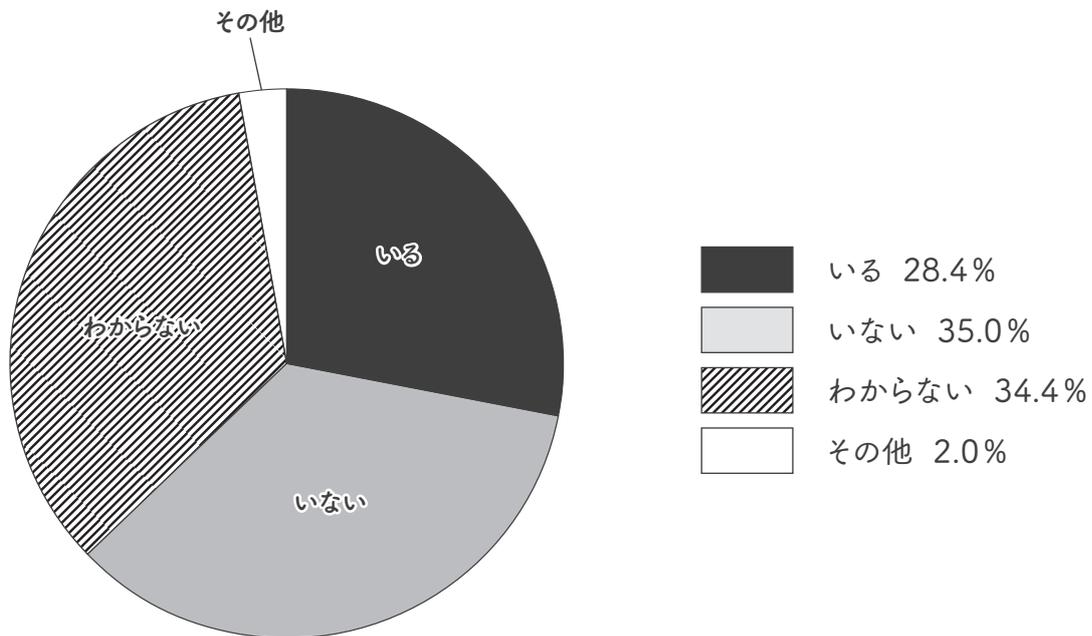
問5 性的マイノリティ（LGBT、LGBTQ+等）という言葉を知っていましたか？（n=183）



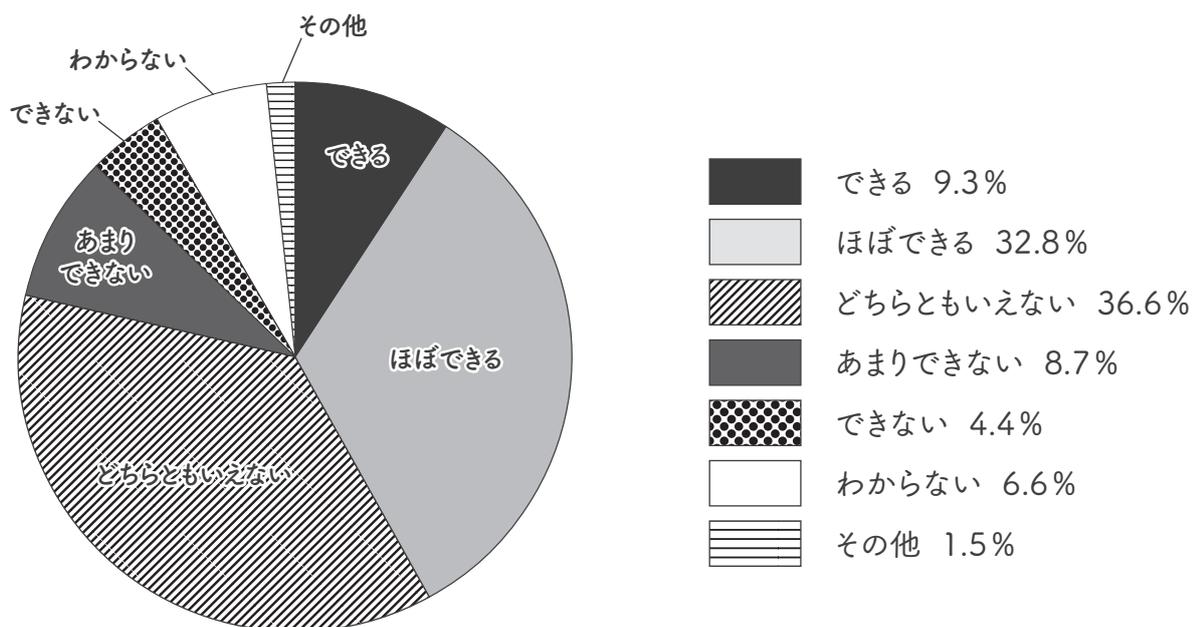
問6 性的マイノリティ（LGBT、LGBTQ+等）にとって、現在の社会は偏見や差別などで生きづらいと思いますか？（n=182）



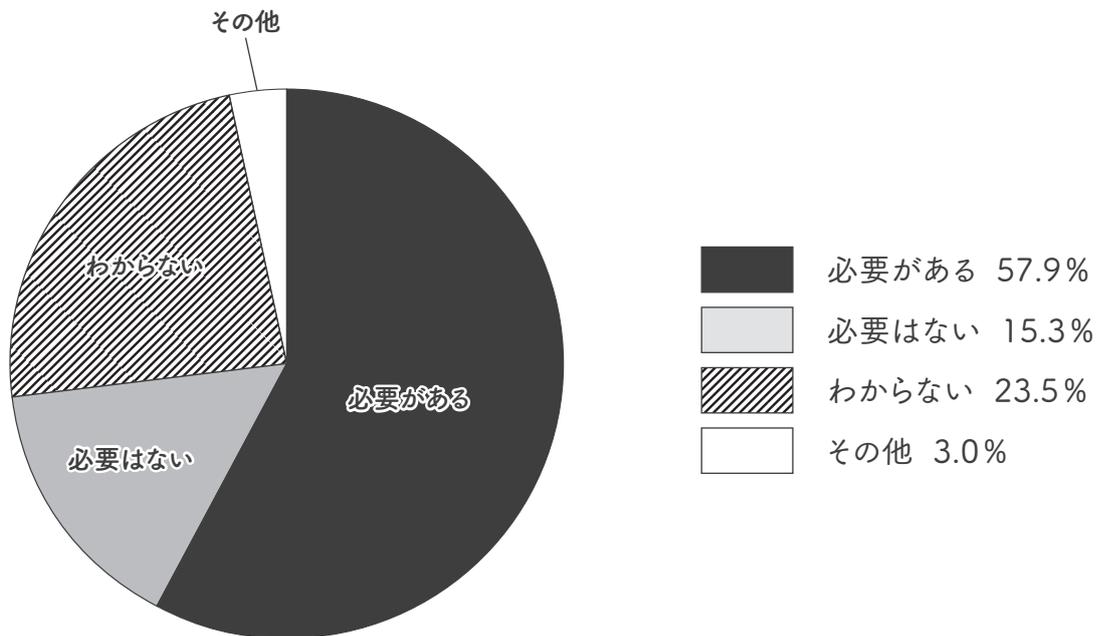
問7 あなたの知り合いに性的マイノリティ当事者がいますか？ (n=183)



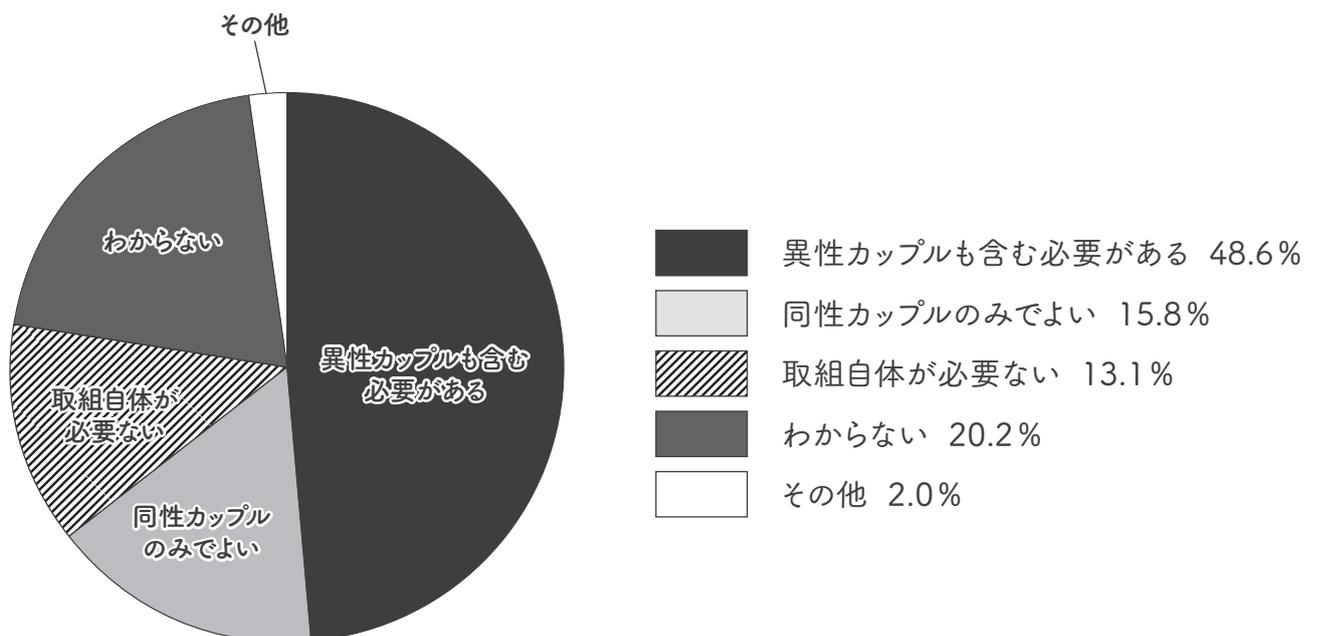
問8 あなたは、性的マイノリティについて正しく理解し、適切に対応ができると思いますか？ (n=183)



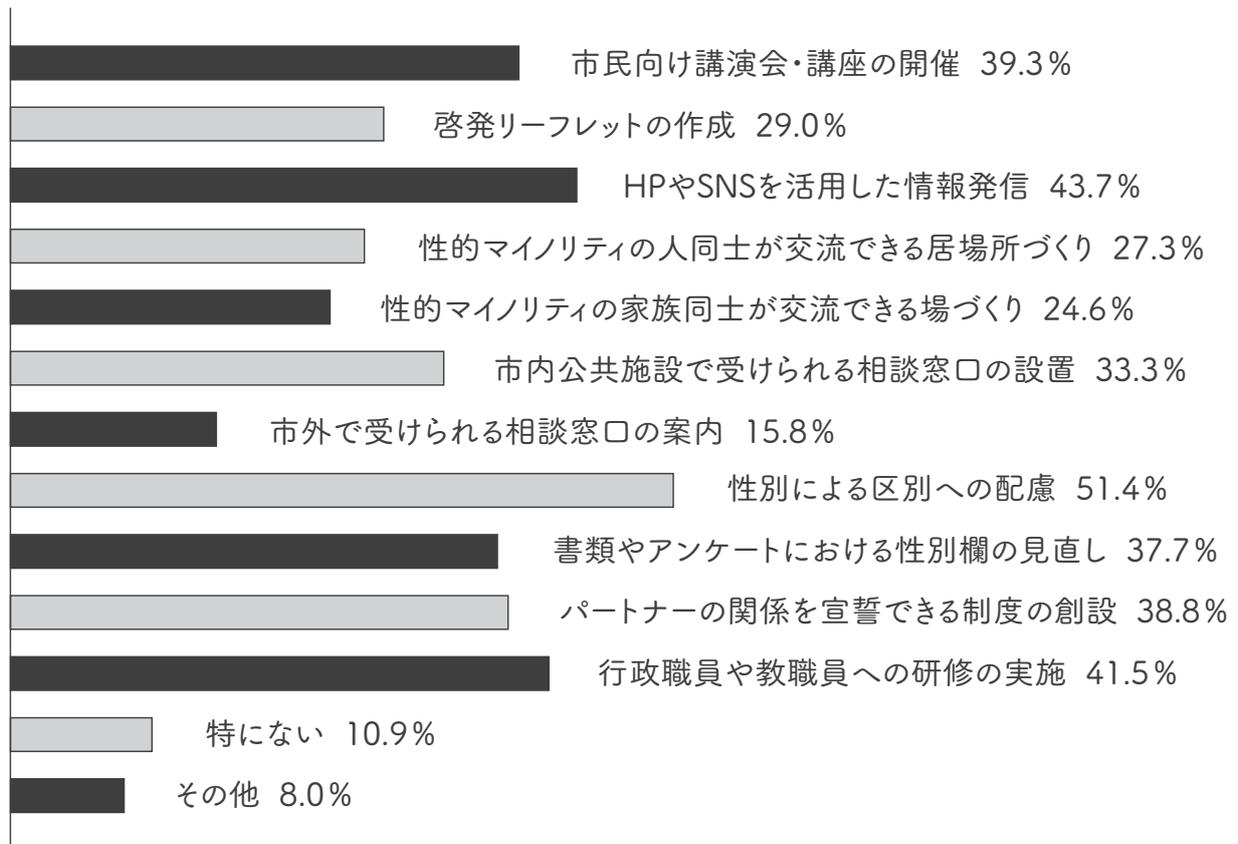
問9 パートナーシップ宣誓制度について、あなたがお住まいの自治体でも実施する必要があると思いますか？(n=183)



問10 パートナーシップ宣誓制度の対象者を同性カップルのみに限らず、事実婚などの異性カップルも含む必要があると思いますか？(n=183)



問 11 性の多様性に対する理解の促進や支援のために、どのような取組が必要だと思いますか？
【複数回答可】（n=183）



問 12 性の多様なあり方に関して、ご意見などを自由にご記入ください。【自由記述】

※回答を受け付けた順に並べてあります。

一人一人が異なるという事を、隠さず、周囲も理解して差別をしない。まだまだ差別や偏見が多く、隠して暮らしている方々が多いと思います。平等になる事で、隠さずに済むようになるといいと思います

木更津からこのようなパートナーシップについての活動が始まって当事者として嬉しいです。周囲にオープンにカミングアウト出来ない環境がまだまだあります。木更津から発信すれば君津(自身の住居)や南房総方面にも性的マイノリティへの理解が広がってくれると嬉しいです。

身近にいないので具体的にはわからないが、今の時代に合わせて少しずつ進めて行く必要があると思う。

多様性が行き過ぎないようにしないと、何かが逆転する気がする。

配慮しないとイケない環境自体が差別

個人的には、否定も肯定もどうでもいいです。
ただ、多様性と言うのであれば、賛成だ何だと騒ぐよりも、否定的の意見も拾うべきです。一方の意見だけでは多様性ではないのでは？否定派の方が声を上げにくいならば、そもそも多様性など所詮は理想ではないですか？

現行法が変わらないと求められている支援につながらないと思う。また、外見ではんだんができないため、性別に関わらず利用できる更衣室やトイレがあれば良いと思うが、盗撮などの犯罪につながるおそれもあると思う。

以前木更津市にパートナーシップについて検討されているか質問させていただきました。実際に検討していただいているようで嬉しく思います。

私は女性で女性パートナーと木更津市に住んでいます。不都合はないものの、やはり現状婚姻などはできず、通常の夫婦であれば問題のない日常の小さなことにもやっと感じるがあります。近隣の市や都道府県でもパートナーシップは進んでおります。ぜひ、よろしくお願いいたします。

性指向や性自認をどんどん認めて増やしていかなければいけない、という考え方ではなく、単純に異性を前提にした固定概念を外せばいいだけのように思う。異性愛が当たり前のことからすると、未知の存在である LGBT を理解しようとするのは大変だが、自分のことは当たり前にわかっていると思うので、「私はたくさんの人の中で、たまたま異性愛者なんだな」くらいの気持ちで、視野を広くするだけで世界は変わっていく。

多様なあり方は自由だと思いますが、それを気持ち悪いと思っている人たちがいることも考えて欲しい。気持ち悪いと思っている方が異常で意見を変えて欲しいと言うのはお門違いです。わざわざ LGBTQ の教育を受ける必要はないし、絶対的少数が多数を支配するのは間違いで、お互い領域を荒らさず生活していくのが一番だと思います。この宣誓制度には反対です。誰に頼まれてこんなことをしてるのでしょうか？こんな左巻きなことはやめて欲しいです。

自分は関係ないと、当事者や同性愛者だけの問題にするのではなく、誰もが生きやすい社会作りを見つめ直すきっかけや取り組みが少しずつでも進むことを願っています。

興味本位で外野が首を突っ込まず静かに見守る方がいい

人は生まれた時から個々の意思があり、犯罪的な思想や考え以外は、批判や否定されるべきではないと考えます。

性的マイノリティ当事者は、何も特別な人ではなく、私達の周りにはいる人と何も変わっていることはありません。

何が普通で、何が普通ではないとの概念が、大半の大人にはありますが、人が育っていく過程で、そういった概念を植え付けないような教育を今後はしていくべきであり、していかなければいけないと思います。

性だけではなく、色々な人がいることをこどものころから学校などで教育することと、大人にも教育が必要。

性的マイノリティの人の職業選択について考えることがある。性転換手術をし戸籍の性別を変えたはいいものの、職場でも気持ち悪いと言われ差別され、木更津市内で職場を転々としてどこでも同じように差別され、定職に就けず心を病み、最悪の結末になってしまった人を知っている。気持ち悪いという偏見を取り払う必要があると思う。

- ・木更津市に限った話ではありませんが、LGBとTはまったく別の話ではないでしょうか…
- ・このアンケートは、アセクシャルの回答者を想定していないように感じました。

性の多様性や性的嗜好は千差万別なので気にしてもしょうがないが、それを偽装し利用するものが出ることは考えなければならない。

もし、相談窓口や交流窓口を設立するなら、「そこを利用している人=LGBTQ 当事者」とならないような配慮があると、利用するハードルが少し下がるのかなと思いました。相談場所を求めている人の多くは、カミングアウトできる状況にない人だと思うので。

地球の生命体として、命を大切にする、命を守る社会を皆で築き上げなければなりません。命を奪う行為はなくしましょう。皆が幸せに生活できる社会を築きましょう。行政の力が大です。

全員が多様性に対して「賛成」したり「意見が一致」することは無理だと思うので、少なくとも差別をする・されることが無くなり、ジェンダーや性的指向に関わらず一人間として過ごしやすい世の中になればいいなと思っています。

色々な人がいて当たり前なのです。表現が悪いかも知れませんが、人間も動物なので、生を受けた時に色々な事が起こるのでしょう。それは特別な事ではなく、そういうこともあるんだね。と受け入れられるようになりたいと思っています。

時代が変わり、多様性が多い場面で謳われるようになったことで、以前よりは理解がされやすい世の中になってきたのではないかとと思っています。

その一方、今までの常識が多様性だから、という理由で廃止されたり、良くないこととして認識されたりする機会も増え、何となくもやっとした気持ちでいる人も少なくないと感じています。

変わることはもちろん必要かもしれませんが、お互いに歩み寄る思いやりも忘れてはならないことだと思います。

他人の生き方を他人が制限して良いことがあってはならない。ただの人権侵害であり、他人に過干渉なモンスタークレーマーが政治に意見できる環境は間違っている。日本の全ての問題は自分の他人の境界線がわからない国民と政治家が生んでいます。海外の教科書に日本は何と書かれているか、政治に携わる人はよく勉強するべきかと思います。

私は木更津市に住む LGBT 当事者です。東京都をはじめ近隣の県の市町村でパートナーシップ制度が導入されはじめるニュースを見て羨ましいなと思うことが多々あります。ぜひ木更津市でも制度の導入に関して前向きに検討していただければ嬉しいです。

生物学的にも、性は多様であることが基本です。そして法治国家としても、基本的人権として認められて当然であり、侵害されてはならない権利と思います。

今はテレビや SNS などでご本人がいろいろと情報を発信しているのを見ることが出来て一昔前に比べたら認知は進んでいるけれど
パートナーが居ても結婚、子育て、病院などの手続きや葬儀相続までの一生が他人扱いしかされないのは社会的には認めないと言われていてとても違和感を感じています 異性でも同性でもお互いをパートナーとして生活して行くことになんの違いも無いと思います
LGBTQ なのではと自分が感じた時に 誰かに相談したい時 開けた窓口があれば良いと思うし教育や啓発が進んでそれが普通の事として受け入れられる社会になって欲しいと思います

問 10 のパートナーシップ制度の対象に関してですが、ぜひとも異性カップルにも対象を広げて導入して欲しいです。海外への出張のある仕事についているため、結婚を機に名前を変えると名前が2つ存在してしまい不都合が生じてしまうため事実婚を検討しています。ただ一方で婚約者(男性)の会社では事実婚では育休の理解が得られないということで育休が取れないという現状があり、また子どもが生まれた際に子供の学校の手続きにおいても親権のない方の親が対応する場合煩雑になると聞いており手続き子どもを持つことを先延ばしにしています。妊娠できる年齢のタイムリミットもあり非常に困っている状況です。パートナーシップ制度があれば、会社の上司にも理解してもらえやすいです。同性と異性カップルのパートナーシップ宣誓制度を木更津市が導入することによって、みんなが生きやすい街、子育てしやすい木更津としてアピールでき、住民が増え、税収があがり、今困っていない人にもメリットがありますので是非導入いただきたいです。

特にない

マイノリティの存在認識と許容は可能だがその扱い？と対応の仕方がわからない場合が多い
その意識が無いのに傷つけている事が多いと思う。
気をつけるべき事と対応の仕方の啓蒙活動をお願いしたい。
また、正直な気持ちとして生物の存続繁栄の面から許容して良いものかは忸怩たるものが拭えませんが、

私自身にもまだまだ心の底に偏見があります。しかしながら、みんなが生きやすい世の中になってほしいと思いますので、このような動きには賛同します。

発達段階を考慮した学校での教育の推進が必要。そのためには、指導者への研修の充実が望まれる。

性的マイノリティをかわいそうな人と思って特別な制度を作らないでほしい。特別な制度を作ることそのものが差別的なこと。性的マイノリティ、性的マイノリティというように何でも性的マイノリティを理由として配慮しなければならないという空気がすごく嫌。人を性的マイノリティであるかないかばかりで見なければならないような空気を作らないでほしい。性的マイノリティを支援するためにパートナーシップ宣誓制度を創設しようとするのは、性欲に結びついた卑わいな制度になっている。結婚は子供を育てる際に有利にしてあげる制度で、婚姻できる関係が限定されているのは遺伝の不都合が生まれないようにしていることが理由。だから婚姻という制度は性欲とは関係がなく、性欲のことに結びついたパートナーシップ宣誓制度とは意味が違う。パートナーシップ宣誓制度は性欲の制度だから、それをオープンするだけの意味しかない。性的マイノリティを性欲の違いで見ていること自体が差別を生み出す要因になっているのに、それをわざわざ人前に出して見せるための制度を創設するのは普通じゃない。人前に見せたい人たちがパートナーシップ宣誓制度を求めていると思うけれど、そういうことが好きな人がやっているだけだから推進させないでほしい。パートナーシップ宣誓制度で性欲を正当なものとして認めてもらいたいというのはちがう。普通に生きていくために最初からパートナーシップ宣誓制度が必要ないような状態にすることが目指すべき社会像。特別な配慮は必要なくて、今のままもっとフラットに生きていける社会にしてほしい。特別に何かしていることに充実感を覚えている人が勝手に政策をやっても、すごく迷惑。「問6 性的マイノリティ(LGBT、LGBTQ+等)にとって、現在の社会は偏見や差別などで生きづらいと思いますか？」の質問に「5. 思わない」と回答したが、性的マイノリティについて特別な配慮をしなければならないかのような要求を社会に求めることや、パートナーシップ宣誓制度で性的マイノリティを特別扱いする空気が増えていくことは、性的マイノリティにとって生きづらい社会になる。「問8 あなたは、性的マイノリティについて正しく理解し、適切に対応ができると思いますか？」に「6. わからない」と回答したが、性的マイノリティについてだけ「正しく理解し、適切に対応ができる」かどうかを考えるとということそのものが不適切である。その人その人と接することが大切であって、「性的マイノリティかどうか」という視点ばかりで人を見ていることが正しく理解していない証拠であり不適切な対応である。「性的マイノリティについて正しく理解し、適切に対応」することが正しい政策であるというような空気を作っている人はいるけど、それが正しいと思えないでほしい。自分が性的マイノリティであることをあちこちで常に意識させられるような社会にしないでほしい。それに喜びを感じることはない。

住まい、年代は回答しません。木更津市、10代を選択しておきます。

このアンケートで「性の多様性」として挙げている「性的指向（好きになる相手）」と「自認（自覚）している性別」とは「心の領域」のことで。

これを読んでください。

「多様な性」とは何か？ 東京都が公表した資料から考える

https://note.com/stop_tokyo/n/na2c7cc2448da

「性の多様性」という考え方の不適切な部分は改めていくべきです。

不適切な理解を広めることは、当事者にとってもメリットはありません。

性的マイノリティに対する不適切な理解を広めるようなことはしないでください。

「性の多様性」という考え方からして不適切です。

性別ではなく、「心の領域」に本人の傾向があるだけです。

「心の領域」は性別ではありません。

「心の領域」のことを当然のものとしてパートナーシップ宣誓制度を創設しないでください。

パートナーシップ宣誓制度は身体的な事実である「性別」と「心の領域」のことを区別しないままに創設されているものがあります。

こういった意味をもつパートナーシップ宣誓制度を創設しないでください。

いまメジャーになっている「性の多様性」という考え方を使わないサポートの仕方もあります。

パートナーシップ宣誓制度を創設しない方法もあります。

むしろそっちの方が自然です。

「性の多様性」なら「パートナーシップ宣誓制度」という短絡的な思考にならないようにしてください。

当事者を「性的に特別な人」として奇異な目で見ないでください。

性的な意味をもつ制度を創設しないでください。

パートナーシップに限っては、自治体ごとよりは国全体で考えることだと思います。

性的指向や性自認などの「性の多様性」が話題になっています。

しかし、「性自認」については不確定な概念で大きな問題になっています。

この動画で「性自認」がどういうものか考えるようにしてください。

2022年5月17日院内集会 女性スペースを守る会-LGBT法案における『性自認』に対し慎重な議論を求める会-

<https://youtu.be/BZpPJKrT0wo>

言葉の意味が定まっていなければ、間違ったことにしかありません。

「性自認」から学問的に意味が成り立つものなのか丁寧に検証してください。

特別視せずに全ての人自分らしく生活できる社会であるのが理想だと思う。

性的マイノリティとしてではなく、個々人の個性としてそれぞれの人が尊重される社会にしていくことはいいことだと思えます。

しかし、パートナーシップ制度は法律に違反していると思えます。

下のページは同性婚とパートナーシップ制度の問題点について詳しく書かれています。

同性婚について

<https://kenpokaisei.jimdofree.com/規範力の復元/同性婚について/>

大阪の地方裁判所の同性婚の訴訟の判決も読むと理解が深まります。

同性婚訴訟 大阪地裁判決の分析

<https://kenpokaisei.jimdofree.com/規範力の復元/同性婚訴訟-大阪地裁判決の分析/>

ここにもパートナーシップ制度の問題点が書かれています。

パートナーシップ制度は婚姻制度と矛盾すると思えます。

このような制度は導入しないようにお願いします。

ありがとうございました。

何でもかんでも多様性を取り入れてはわけがわからなくなります

必ずしも行政で取り組む必要はなく、NPO なりが任意の制度を構築し、ある程度、入院の家族認定など日常生活に効力のある仕組みにすればいい

木更津市には、独善的で声がデカくて大げさなオカマ集団に振り回されないよう、毅然とした姿勢を貫いていただきたいです。このアンケートの集計結果がよいほうに転がることを期待しますが、マイノリティに対する施策が多数決に左右されることはないのでしょうか。

子育て支援の対象に「お母さん」と言いがちですが、「保護者の方」と表現するようにしています。

男女共同参画や男尊女卑というか子育ては女性の仕事という概念を自治体からとっぴらっていく必要があると思えます。

性的嗜好とは少し違うかもしれませんが、、、

木更津市は外国からの転入も増えていたり、多種多様な人種、性別を超えた色々な家族のあり方ができるのは時代の流れかなと思えますし、差別や偏見の撤廃は自治体からすすんで実施していくべきと思えます。

5年前袖ヶ浦市に移動してきた際、パートナーシップについて市に問い合わせたが、対応していないと解答をもらいました。

もし、4市でパートナーシップ制度が採用されるのであれば申請したいです。前向きな解答をお願いします。

時間に左右されず、慎重に協議を重ねて、また交流機会なども設けて、悪用されない制度を制定してください。

障害、生活保護、LGBT などの方への理解は必要。ですが、これらの方たちが、どの程度まで増えても市が維持出来るのか？許容出来る範囲が知りたい。少数だから面倒みるし、理解する努力もするが、かといって、大多数になったら少子化、人口減を含めて市を維持出来ないと思うので。トータルで考える必要は無いのですか？各論での議論も大事でしょうが。もしかして市ではそんな検討はして無い？笑まさか?! 本当に?! 持続するマチとして嘘と言ってくださいませ🙏

性の多様性について、昔からオカマ・オナベバイセクシャル等同性愛者は存在しており認知はされないが認識はされていた。

今に始まった事のように性的マイノリティ（LGBT、LGBTQ+等）と言葉遊びの様に日本語から横文字変換したりして内容を拡大解釈したりデモを行ったり何か特別な人の様に権利を主張し騒ぎまくり耳障りだ。

正しい日本語で性の多様性についてメリット・デメリットの内容をはっきり詳しく説明してもらいたい、心の病・性転換手術・性別変更・性交・妊娠・出産等有り無し、同性愛者バイセクシャルのパイプカット等性交等による性病(AIDS、梅毒、淋病他)感染拡大防止策・養子縁組等による子供の権利の侵害等確認、その他もろもろの課題がある。

一般的な男性と女性の古来からの営み子孫繁栄を最優先で取り組むべき時で、阻む人と比べて今更何か特別に容認し取扱い取り組む必要性がない。

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入について群衆心理を利用してまで検討に値しない。

性的マイノリティについて三重県の議会でかなり問題になったものがある。

動画の初めから1時間あたりまでを見てほしい。

性的少数者に対する制度を作ることの問題が端的に指摘されている。

差別解消を目指す条例検討調査特別委員会（10月14日）

<https://www.youtube.com/watch?v=0nZ3eosfsIE>

この問題を考えてほしい。

パートナーシップ制度の創設に反対している性的少数者もいることを知ってほしい。